『じっくりミレー』 遊び方説明書

人数: 2～6人　年齢: 6歳～　時間: 5分～

■どんなゲーム?

名画に登場するこの人物はいったいどんな気持ち？
じっくりミレーは「芸術家」役の人がえらんだ「気持ちカード」をみんなで予想して答え合わせ。
えらんだ理由をきいて「なるほど！」と納得したり、「えー！」と意外な視点にびっくりしたり。
家族みんなで楽しいおしゃべりの時間を過ごせる「名画の気持ち想像」ゲームです。

■内容物

●特製がくぶち　4コ、●気持ちカード　36枚(6枚×6人用)※女の子が描かれている面がおもて面です。
●バラの宝石　20個、●サンプル名画　3枚(両面6作品)
●芸術家コイン　1コ、●おめでとう賞状　1コ、●説明書　2部(日本語、英語)

■準備

各プレイヤーは裏面が同じ模様の「気持ちカード」1セット6枚を持ちます。
今回の「芸術家」役を一人決め、「芸術家」は今回の「芸術家」役をあらわす「芸術家コイン」と、ゲームの最後に勝った人にプレゼントする「おめでとう賞状」を自分の近くに置きます。

「芸術家」は好きな絵を全員が良く見えるよう、中央に置き、絵の近くに「特製がくぶち」4つと「バラの宝石」20個を用意します。

[当てる人1]

[当てる人2]

[芸術家]役　　※3人で遊ぶ場合

<ポイント>
好きな絵は「サンプル名画」からえらんでもよいですし、好きな本のページを利用するなど
自由にえらんでください。

■遊び方

同じ「芸術家」が以下の手順で4回問題をだしたらゲーム終了です。
予想を当ててバラの宝石を一番集めた人が勝ちです。

1 「芸術家」は絵の1か所に好きな形の「特製がくぶち」を1つ置き、その場面の人物や物の気持ちを想像して、「気持ちカード」を手札から1枚えらび裏向きでだします。

2 「芸術家」以外の「当てる人」は「芸術家」が出した「気持ちカード」を予想し、同じカードを手札から1枚えらび裏向きでだします。

3 全員がカードを出し終わったら、「芸術家」の左どなりの人から自分が出したカードを表向きにし、なぜその「気持ちカード」を選んだのかをお話します。時計回りに同様に続けていき、「当てる人」全員がカードを表にするまで繰り返します。

4 次に全員で『じっくりミレー』の掛け声をかけ、「芸術家」は自分のカードを表向きにして答え合わせをします。「芸術家」は正解した人にバラの宝石を1つプレゼントします。

5 「芸術家」はなぜその「気持ちカード」を選んだのかをお話します。
また全員が出した「気持ちカード」についても、「おもしろいね」「確かにそう見える」などどう感じたのかをみんなでおしゃべりしましょう。

6 予想がはずれた人は今回自分が出したカードを手札にもどします。
そして今回の正解カードを手札から自分の前に捨てます。

7 「芸術家」は、今回使用した「特製がくぶち」は絵の上に置いたまま1の手順に戻ります。

<ポイント>
・「当てる人」は自由に質問してもかまいませんが、答えるかどうかは「芸術家」の自由です。
・人物以外にも風景やモノに「特製がくぶち」をおいてもかまいません。
　それをみて「どう感じるか」は「芸術家」の自由です。

ver 1.1